

## 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)  
[PCT36 条及び PCT 規則 70]

REC'D 22 SEP 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 JSOBY-598PCT	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2004/011024	国際出願日 (日.月.年) 27.07.2004	優先日 (日.月.年) 06.08.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> G06F9/445, H04N5/907		
出願人 (氏名又は名称) ソニー株式会社		

1. この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 5 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。
- a. ☒ 附属書類は全部で 6 ページである。
- ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)
- ☒ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
- b. ☐ 電子媒体は全部で \_\_\_\_\_ (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第 802 号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第 II 欄 優先権
- ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第 V 欄 PCT35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第 VI 欄 ある種の引用文献
- ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
- ☐ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 12.11.2004	国際予備審査報告を作成した日 06.09.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 坂庭 剛史	5 B 3562
	電話番号 03-3581-1101 内線 3546	

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2004 年 1 月)

第 I 欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。  
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査  
☐ PCT規則12.4にいう国際公開  
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-17 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2, 4 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの  
第 1, 3, 6, 7 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT 19条の規定に基づき補正されたもの  
第 \_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-9 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの  
第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル  
配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 5, 8 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☒ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 9 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-4, 6, 7	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-4, 6, 7	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-4, 6, 7	有
	請求の範囲	無

## 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

- 文献1: J P 2000-013237 A (日本ビクター株式会社)  
2000. 1. 14、全文 (ファミリーなし)  
文献2: J P 09-297827 A (松下電器産業株式会社)  
1997. 11. 18、全文 (ファミリーなし)  
文献3: J P 06-348504 A (シャープ株式会社)  
1994. 12. 22、全文 (ファミリーなし)  
文献4: J P 2002-091767 A (株式会社東芝)  
2002. 3. 29、全文 (ファミリーなし)  
文献5: J P 2001-045178 A (富士写真フイルム株式会社)  
2001. 2. 16、全文 (ファミリーなし)

国際調査報告で引用した上記文献1には、半導体メモリーカードを携帯型データ再生装置に挿入し、自動的に半導体メモリーカードから携帯型データ再生装置に、デコードプログラムを読み込んで実行することにより、半導体メモリーカードに記憶されている音声データを再生することが記載されている。

国際調査報告で引用した上記文献2には、PCカードをパーソナルコンピュータに挿入し、PCカードに記録されたブラウザを、パーソナルコンピュータ上で起動することにより、デジタルカメラがPCカードに記録した画像データを見ることが記載されている。

上記文献3には、メモリーカードをマイクロプロセッサシステムに装着し、メモリーカードに記録された起動プログラムをマイクロプロセッサシステム上で実行することにより、メモリーカードに記録された処理プログラムを起動することが記載されている。

上記文献4には、MP3プレーヤーとセンターツールとを接続し、MP3プレーヤーが備えるフラッシュメモリに記録されたプログラムを、センターツール上で起動することにより、センターツールが備えるハードディスク装置から、フラッシュメモリにオーディオデータを書き込み、オーディオデータの再生順を変更することが記載されている。

## 補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

## 第 I.4 欄の続き

「前記メモリ装置内に画像データが入っているファイルのアイコン又は縮小画面を同一画面上に表示する」という記載を付加する請求の範囲 9 の補正は、出願時における国際出願の開示の範囲を超えている。

## 補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

## 第 V 欄の続き

文献 1－4 に記載された発明は、いずれも携帯可能なメモリに記録されたプログラムを実行することを目的としているから、文献 1 または 2 に記載された発明と、文献 3 及び 4 に記載された発明とを組み合わせ、請求の範囲 1－4、6 に係る発明を創作することは、当業者にとって容易である。

上記文献 5 には、メモリカードを画像送信機に挿入し、メモリカードに記録された電話番号ファイルに記述されている電話番号を、画像送信機からの送信先として、自動的に設定し、メモリカードに記録された画像データを送信することが記載されているから、請求の範囲 7 に係る発明を創作することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲

1. (補正後) 可搬性のメモリ装置であって、

5 (a) ホスト機器に設けられた該ホスト機器との間でデータの  
入出力が可能なインターフェースに接続可能な端子と、

(b) 画像及び音声のうち少なくとも一方のデータと、

前記ホスト機器が前記画像及び音声のうち少なくとも一方の  
データを再生するための再生プログラムデータと、

10 前記端子が前記インターフェースに接続されたことを前記ホ  
スト機器が検出したときの検出信号に基づき、該ホスト機器が前  
記再生プログラムデータのプログラムを実行するための実行プ  
ログラムデータと前記ホスト機器から前記画像及び音声のうち  
少なくとも一方のデータを前記メモリ装置に書き込みを行なう  
書き込みプログラムとを記憶する記憶素子と

15 を具備することを特徴とするメモリ装置。

2. 請求の範囲第1項に記載のメモリ装置であって、

前記ホスト機器が、予め、少なくとも前記再生プログラムデー  
タと前記実行プログラムデータとを記憶している場合に、

20 前記記憶素子に、前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデ  
ータが記憶された状態で前記端子が前記インターフェースに接  
続されたとき、前記ホスト機器が、前記検出信号に基づき前記実  
行プログラムを起動することで前記記憶素子に記憶された前記  
画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを読み出して再生  
することを特徴とするメモリ装置。

25 3. (補正後) データの入出力が可能なインターフェースを有す  
るホスト機器に、

PCT/JP 2004/011024  
日本国特許庁 12.11.2004

18/1

(a) 前記インターフェースに可搬性のメモリ装置の端子が接続されたことを示す検出信号を検出するステップと、

(b) 前記検出信号に基づき前記メモリ装置に記憶された画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを再生するための再生プログラムデータのプログラムを実行するステップと

5   を実行させるためのプログラムと前記ホスト機器から前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを前記メモリ装置に書き込みを行なう書き込みプログラムとを記録した記録媒体。

4.   請求の範囲第3項に記載の記録媒体であって、

10   前記ステップ(a)の前に、前記ホスト機器が前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデータと前記再生プログラムデータと前記実行プログラムデータとを記憶している場合に、

  前記ステップ(a)の前に、前記メモリ装置の端子が前記インターフェースに接続された状態で、前記ホスト機器に、

  (c) 前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを前記メモリ装置に出力するステップと、

15   (d) 前記ステップ(c)と同時に、途中、または後に、前記再生プログラムデータと前記実行プログラムデータとを前記メモリ装置に出力するように制御するステップと

  をさらに実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

5. (削除)

20   6. (補正後) (a) データの入出力が可能なインターフェースを有するホスト機器と、



(b) 可搬性のメモリ装置であって、

前記インターフェースに接続可能な端子と、

画像及び音声のうち少なくとも一方のデータと、前記ホスト機器が前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを再生するための再生プログラムデータと、前記端子が前記インターフェースに接続されたことを前記ホスト機器が検出したときの検出信号に基づき、該ホスト機器が前記再生プログラムデータのプログラムを実行するための実行プログラムデータと前記ホスト機器から前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを前記メモリ装置に書き込みを行なう書き込みプログラムとを記憶する記憶素子と

を有するメモリ装置と

を具備することを特徴とするデータ処理システム。

7. (補正後) 請求の範囲第6項に記載のデータ処理システムであって、

前記ホスト機器にネットワークを介して接続された外部機器をさらに具備し、

前記ホスト機器は、

前記記憶素子に、前記画像及び音声のうち少なくとも一方のデータが記憶された状態で前記端子が前記インターフェースに接続されたとき、前記検出信号に基づき前記実行プログラムを起動するとともに、当該画像及び音声のうち少なくとも一方のデータを前記ネットワークを介して予めユーザーによって指定された前記外部機器に出力するように制御する手段を有することを特徴とするデータ処理システム。

8. (削除)

PCT/JP2004/011024

日本国特許庁 12.11.2004

21

9. (追加) 請求の範囲第1項に記載のメモリ装置であって、前記書き込みプログラムは、前記ホスト機器で実行され、前記メモリ装置内に既に記録されているファイルと、ユーザーが選択した前記メモリ装置に記録しようとするファイルを同一画面上に表示するようにし、選択されたファイルを前記メモリ装置に書き込みを行なう前記書き込みプログラムを備えることを特徴とするメモリ装置。
- 5

9. (補正後) 請求の範囲第1項に記載のメモリ装置であって、前記書き込みプログラムは、前記ホスト機器で実行され、前記メモリ装置内に画像データが入っているファイルのアイコン又は縮小画面を同一画面上に表示するようにし、選択されたファイルを前記メモリ装置に書き込みを行なう前記書き込みプログラムを備えることを特徴とするメモリ装置。
- 5

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☒ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**